



# ユーザーズ・ マニュアル

24ポート 10M/100M WEB スマートスイッチ

ver. 4

## S-0224FF

**PLANEX COMMUNICATINS INC.**



# 使用前に必ずお読みください

---

## ■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

## ■ご注意

- ・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
- ・ 本製品パッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関する保証は一切ありません。
- ・ 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- ・ 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合があります。通信事業者との契約内容をご確認ください。
- ・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

## ■著作権等

- ・ 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。  
プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- ・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

### ●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

本マニュアルにおける記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

### ●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

User's Manual Version 4 No.PMN-08-24-TN-S-0224FF

# 本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧ください必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。

これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。



## 警告

### ■設置及び保管に関して

- ・ 動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。  
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。  
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。  
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。  
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。  
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 本製品を分解、改造しないでください。  
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

## ■取り扱いに関して

- ・ 高温に注意してください。  
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・ 湿気やほこりの多いところに保管しないでください。  
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 本製品を重ねて設置しないでください。  
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 振動の多い場所や不安定な場所では本製品をご利用にならないでください。  
振動の多い場所や不安定な場所では本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 静電気に注意してください。  
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・ 落下や衝撃に注意してください。  
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

## ■その他

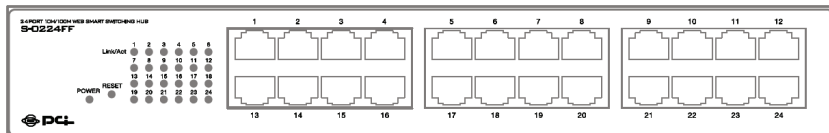
- ・ 本製品は日本国内でご利用ください。  
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- ・ ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。  
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

## ■本マニュアルの使い方

Adobe Readerで表示できます。

Adobe Readerの検索機能で、目的の項目（キーワード）を探ることが可能です。

## ■各部の名称とはたらき



### LED

#### POWER

点灯（緑） 電源がオンの状態です。

消灯 電源がオフの状態です。

#### Link/Act 1～24

点灯（緑） ポートがリンクしている状態です。

点滅（緑） ポートがデータを送受信している状態です。

消灯 ポートがリンクしていない状態です。

### ポート1～24

10BASE-T/100BASE-TXに対応したRJ-45ポート（AutoMDI/MDI-X対応）です。

### リセットボタン

本製品の設定を工場出荷時の状態に初期化できます。

使用方法は「■初期化方法」（25ページ）を参照ください。



## ■導入前の確認

本製品は設定と管理用にWEBインターフェースを装備しているため、初期状態で「192.168.1.1」のIPアドレスが設定されています。

お使いのネットワークに導入する前に、同じIPアドレスを使っている機器が他にはないことを確認してください。

もしも他にも同じIPアドレスを使っている機器があるときは、以下の手順で本製品のIPアドレスを変更を済ませてから、お使いのネットワークへ導入してください。

### 手順

1. 設定用のコンピュータを1台と、LANケーブルを1本用意します。
2. コンピュータと本製品をLANケーブルで接続します。  
! まだ設定用のコンピュータ以外は接続しないでください。
3. 「■WEB設定画面の表示」の手順でWEB設定画面を表示します。
4. 「■System IP Configuration」の説明にそって本製品のIPアドレスを変更します。
5. 変更したIPアドレスで、WEB設定画面が表示できることを確かめます。
6. 本製品をお使いのネットワークへ導入（接続）します。

## ■WEB設定画面の表示

1. コンピュータと本製品をLANケーブルで接続します。
2. コンピュータのTCP/IPの設定を以下のようにします。  
IPアドレス : 192.168.1.xxx (xxxは2~254の間)  
サブネットマスク : 255.255.255.0
3. WEBブラウザで「192.168.1.1」を開きます。  
▼ 「User Login」画面が表示されます。
4. 以下を入力し、[OK] をクリックします。  
ID : admin  
Password : admin  
※adminは本製品の初期値です。

以上で、本製品のWEB設定画面が表示されます。

※手順2、3は本製品のIPアドレスが初期値であることを前提にしています。

本製品のIPアドレスを変更しているときは、それにあった値を入力してください。

---

## ！メモ

WEB設定画面では、以下のときに「Notice」画面が表示されます。

[Back] をクリックして元に戻るか、一度ウインドウを閉じてWEB設定画面を表示しなおしてください。

- ・一定時間（約5分間）操作をしなかったとき
  - ・別のコンピュータからWEB設定画面へのアクセスがあったとき
- 

## ！トラブルシューティング

「Error Invalid name or Password」が表示される時は…

入力した「ID」または「Password」に誤りがあります。

[OK] をクリックして「User Login」画面に戻り、再度入力してください。

「ID」、「Password」がわからなくなったときは…

本体前面のリセットボタンを使って、本製品の設定を工場出荷時の状態に初期化できます。

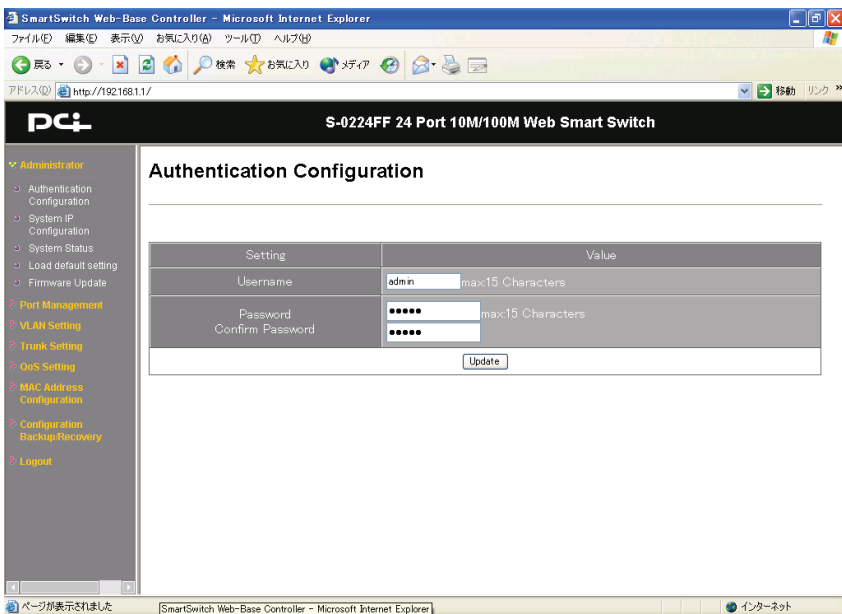
使用方法は「■初期化方法」（25ページ）を参照ください。

---

# ■WEB設定画面の各種設定項目について

## ▽Administrator

### ・ Authentication Configuration



WEB設定画面へログインするためのUsername (ID) とPasswordを設定できます。

どちらも半角英数文字で15文字まで入力可能です。

どちらも初期値は「admin」で設定されています。(Password欄は常に伏字で表示されます)

## ・ System IP Configuration

The screenshot shows the 'System IP Configuration' page of a SmartSwitch Web-Base Controller. The browser window title is 'SmartSwitch Web-Base Controller - Microsoft Internet Explorer'. The address bar shows 'http://192.168.1.1/'. The page header includes the PCi logo and the device model 'S-0224FF 24 Port 10M/100M Web Smart Switch'. The left sidebar contains a navigation menu with options like Administrator, Authentication Configuration, System IP Configuration, System Status, Lead default setting, Firmware Update, Port Management, VLAN Setting, Trunk Setting, QoS Setting, MAC Address Configuration, Configuration Backup/Recovery, and Logout. The main content area is titled 'System IP Configuration' and contains a table with the following data:

Setting	Value
IP Address	192 168 1 1
Subnet Mask	255 255 255 0
Gateway	192 168 1 254

Below the table is an 'Update' button. The browser status bar at the bottom shows 'ページが表示されました' and 'インターネット'.

本製品のIPアドレスを設定できます。

初期値は以下のようにになっています。

IP Address : 192.168.1.1  
Subnet Mask : 255.255.255.0  
Gateway : 192.168.1.254

IPアドレスを変更した後は、新しいIPアドレスでWEB設定画面にアクセスしてください。

別のセグメントのIPアドレスへ変更したときは、コンピュータのTCP/IPの設定もそのセグメントにあわせてから、新しいIPアドレスでWEB設定画面にアクセスしてください。

---

## ！メモ

次のようなときは適切なIPアドレスへの変更が必要です。

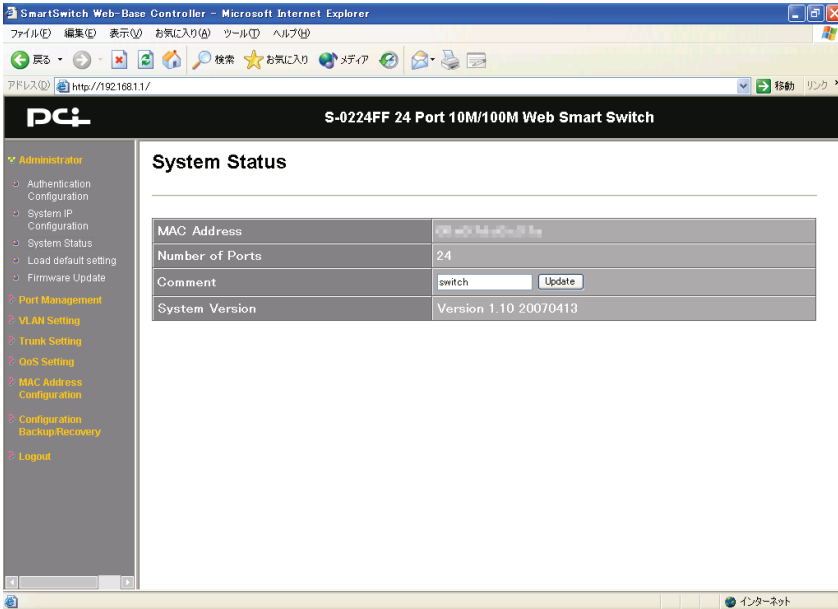
- ・ネットワークを別のセグメントで運用しているとき
- ・IPアドレスが、ネットワーク内の他の機器と重複するとき

詳しくは、ネットワーク内の機器のTCP/IP設定を確認するか、ネットワークの管理者へ確認ください。

尚、本製品は管理用にIPアドレスを必要とするため、IPアドレスを未設定の状態にすることはできません。

---

## ・ System Status



The screenshot shows a web browser window titled "SmartSwitch Web-Base Controller - Microsoft Internet Explorer". The address bar shows "http://192.168.1.1/". The page header displays the DCI logo and the device name "S-0224FF 24 Port 10M/100M Web Smart Switch". The main content area is titled "System Status" and contains a table with the following information:

MAC Address	00:00:00:00:00:00
Number of Ports	24
Comment	<input type="text" value="switch"/> <input type="button" value="Update"/>
System Version	Version 1.10 20070413

The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

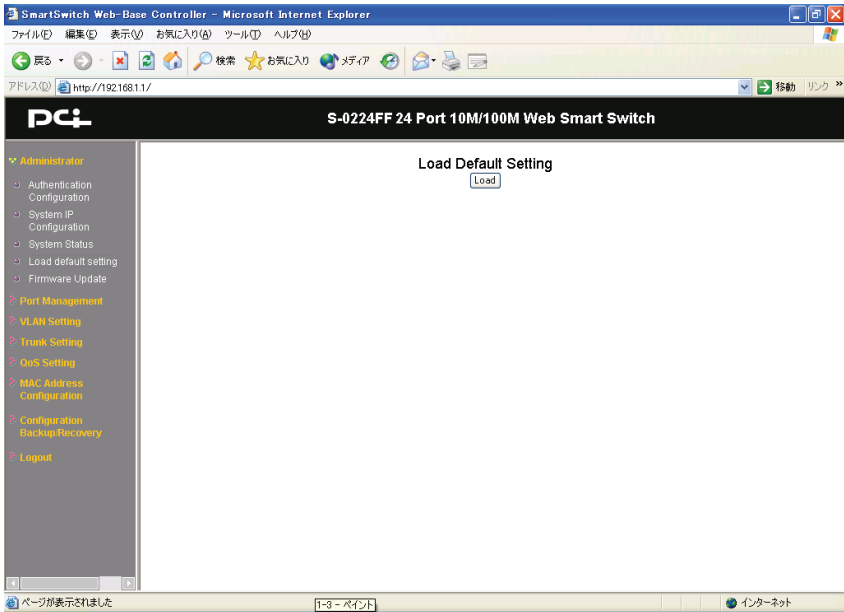
- Administrator
  - Authentication Configuration
  - System IP Configuration
  - System Status
  - Load default setting
  - Firmware Update
- Port Management
- VLAN Setting
- Trunk Setting
- QoS Setting
- MAC Address Configuration
- Configuration Backup/Recovery
- Logout

The bottom status bar shows "インターネット" (Internet).

以下の項目を確認できます。

- MAC Address : 本製品のMACアドレス
- Number of Ports : 本製品のポート数
- Comment : 半角英数字で任意のコメントを入れておけます。
- System Version : ファームウェアバージョン

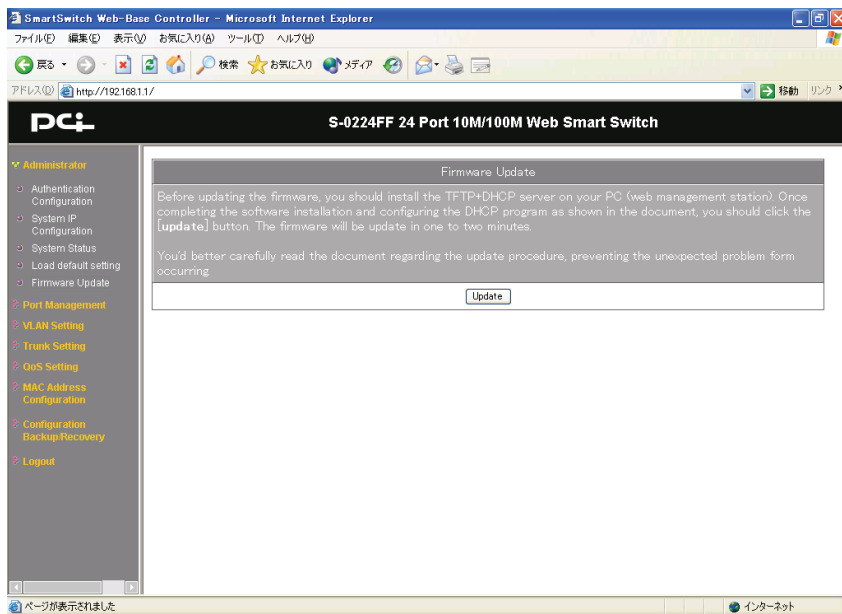
## ・ Load Default Setting



本製品の設定を、工場出荷時の状態に初期化できます。

初期化するときは [Load] をクリックします。

## ・ Firmware Update



ファームウェアの更新ができます。

操作手順については、ファームウェア公開時に添付されているテキストファイルを参照ください。

# ▽Port Management

## ・ Port Configuration

SmartSwitch Web-Base Controller - Microsoft Internet Explorer  
アドレス http://192.168.1.1/

**PCi** S-0224FF 24 Port 10M/100M Web Smart Switch

### Port Configuration

Port No.	Port Enable	Link Capability	Duplex	Flow Control
01	Enable	Auto	Full	On

Update

Port	Current Status				Setting Status			
	Link Status	Speed	Duplex	Flow Control	Tx/Rx	Capability	Duplex	Flow Control
1	●	100M	Full	off	Enable	Auto	Full	on
2	---	---	---	---	Enable	Auto	Full	on
3	---	---	---	---	Enable	Auto	Full	on
4	---	---	---	---	Enable	Auto	Full	on
5	---	---	---	---	Enable	Auto	Full	on
6	---	---	---	---	Enable	Auto	Full	on
7	---	---	---	---	Enable	Auto	Full	on
8	---	---	---	---	Enable	Auto	Full	on
9	---	---	---	---	Enable	Auto	Full	on

各ポートの通信設定ができます。

また、各ポートの動作状態と設定状態を、画面下の表で確認できます。

### 設定手順

1. 設定するポートを「Port No.」欄で指定します。
2. ポートの通信可否を「Port Enable」欄で指定します。
  - 通信可能にするときは「Enable」を選択します。
  - 通信不可にするときは「Disable」を選択します。
3. リンク速度を「Link Capability」欄で指定します。
  - 自動設定にするときは「Auto」を選択します。
  - 100BASE固定にするときは「100M」を選択します。
  - 10BASE固定にするときは「10M」を選択します。通常は「Auto」を推奨します。



4.全二重/半二重を「Duplex」欄で指定します。

全二重にするときは「Full」を選択します。

半二重にするときは「Half」を選択します。

「Link Capability」欄が「Auto」のときは、「Full」を推奨します。

5.フローコントロールの動作可否を「Flow Control」で指定します。

有効にするときは「On」を選択します。

無効にするときは「Off」を選択します。

通常は「On」を推奨します。

6.以上の設定を適用するときは [Update] をクリックします。

## ・ Port Mirroring

SmartSwitch Web-Base Controller - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 印刷 検索 検索 お気に入り メディア

アドレス http://192.168.1.1/

DCI S-0224FF 24 Port 10M/100M Web Smart Switch

### Port Mirroring

Destination Port	01											
Monitored Packets	Disable											
Source Port	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24

Update

1.Only one destination port is active all the time.  
2.If the Port number of source port is the same as the destination port, the source port will be ignored automatically by the program.

ページが表示されました インターネット

ポートミラーリングの設定ができます。

パケットのモニタリングなどに使用できます。

## 設定手順

1. モニタリングするコンピュータを接続するポートを「Destination Port」で指定します。
2. モニタリングする内容を「Monitored Packets」で指定します。
  - ミラーリング機能を無効にするときは「Disable」を選択します。
  - 受信パケットだけをモニタリングするときは「Rx」を選択します。
  - 送信パケットだけをモニタリングするときは「Tx」を選択します。
  - 送受信パケットをモニタリングするときは「Tx & Rx」を選択します。
3. モニタリングの対象にするポートを「Source Port」で指定します。

ここでは複数のポートを選択できますが、「Destination Port」で指定したポートだけは選択できません。
4. 以上の設定を適用するときは [Update] をクリックします。

## ・ Bandwidth Control

Port No	Tx Rate	Rx Rate	Link Speed
1	100M	100M	100M
2	100M	100M	100M
3	100M	100M	100M
4	100M	100M	100M
5	100M	100M	100M

各ポートの帯域制御の設定ができます。

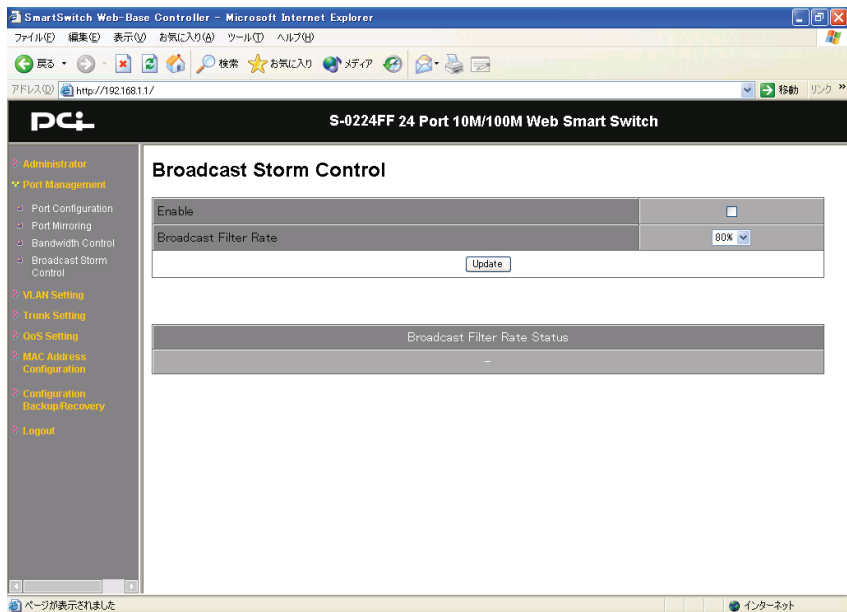
また、各ポートの設定状態を、画面下の表で確認できます。

### 設定手順

1. 設定するポートを「Port No」欄で指定します。
2. ポートの送信レートを「Tx Rate」欄で指定します。  
「100M」「50M」「10M」「8M」「4M」「2M」「1M」から選択できます。  
帯域制御を行わないときは「100M」を選択します。
3. ポートの受信レートを「Rx Rate」欄で指定します。  
「100M」「50M」「10M」「8M」「4M」「2M」「1M」から選択できます。  
帯域制御を行わないときは「100M」を選択します。
4. 以上の設定を適用するときは [Update] をクリックします。

全ポートの帯域制御設定を解除したいときは [LoadDefault] をクリックします。

## ・ Broadcast Storm Control



ブロードキャストストーム・コントロール機能の設定ができます。

本機能は、ブロードキャストストームが発生したときに、設定したしきい値を超えるフラディング対象フレームを破棄して、本製品とネットワークにかかる負荷を抑える働きをします。

初期値は無効です。

### 設定手順

- 1.本機能を有効にするときは「Enable」欄をチェックオンにします。
- 2.フィルタリング率を「Broadcast Filter Rate」欄で指定します。  
「80%」「60%」「40%」「20%」から選択できます。
- 3.以上の設定を適用するときは [Update] をクリックします。

## ▽VLAN Setting

VLANは、ポートをグループ分けすることで、論理的にネットワークセグメントを構築できる機能です。

本製品はポートベースVLANに対応しています。

通常のポートベースVLANを使うときは「Group VLAN Setting」で設定します。

インターネット・マンションなどでよく見られる、ルータ1ポートに対して各部屋を分割する構成のときは「Multi to 1 Setting」で設定します。

### ・ Group VLAN Setting

Group No.	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	Comment
1	v	v	v	v	v	v	v	v	v	v	v	v	111111
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

ポートベースVLANの設定ができます。

VLANグループは最大12個です。

任意のポートを複数のVLANグループに所属させることができる、マルチプルVLAN（オーバーラップ設定）に対応しています。

初期値は、全ポートがGroup No.1です。

## 設定手順

### <ポート1～3、ポート4～6、ポート7～24の3つのグループにわけたいときの例>

1. 「Group No.」欄で「01」を指定します。
2. 「Member Port」欄で「01」～「03」をチェックオンにします。
3. 「Comment」欄に任意のコメントを半角英数文字で入力します。コメントがないときは変更不要です。
4. [Update] をクリックします。
- 5.画面下の表で設定が反映されたことを確認します。
6. 「Group No.」欄で「02」を指定します。
7. 「Member Port」欄で「04」～「06」をチェックオンにします。
8. 「Comment」欄に任意のコメントを半角英数文字で入力します。コメントがないときは変更不要です。
9. [Update] をクリックします。
- 10.画面下の表で設定が反映されたことを確認します。
11. 「Group No.」欄で「03」を指定します。
12. 「Member Port」欄で「07」～「24」をチェックオンにします。
13. 「Comment」欄に任意のコメントを半角英数文字で入力します。コメントがないときは変更不要です。
14. [Update] をクリックします。
- 15.画面下の表で設定が反映されたことを確認します。

### <ポート1～5、ポート6～10、ポート11～23の3つのグループにわけ、ポート24だけは全グループと通信できるようにしたいときの例>

1. 「Group No.」欄で「01」を指定します。
2. 「Member Port」欄で「01」～「05」と「24」をチェックオンにします。
3. 「Comment」欄に任意のコメントを半角英数文字で入力します。コメントがないときは変更不要です。
4. [Update] をクリックします。
- 5.画面下の表で設定が反映されたことを確認します。
6. 「Group No.」欄で「02」を指定します。
7. 「Member Port」欄で「06」～「10」と「24」をチェックオンにします。

8. 「Comment」欄に任意のコメントを半角英数文字で入力します。コメントがないときは変更不要です。
9. [Update] をクリックします。
- 10.画面下の表で設定が反映されたことを確認します。
11. 「Group No.」欄で「03」を指定します。
12. 「Member Port」欄で「11」～「23」と「24」をチェックオンにします。
13. 「Comment」欄に任意のコメントを半角英数文字で入力します。コメントがないときは変更不要です。
14. [Update] をクリックします。
- 15.画面下の表で設定が反映されたことを確認します。

全ポートのVLAN設定を解除したいときは [LoadDefault] をクリックします。

## ・ Multi to 1 Setting

The screenshot shows the SmartSwitch Web-Base Controller interface in Microsoft Internet Explorer. The browser address bar shows the URL <http://192.168.1.1/>. The page title is "S-0224FF 24 Port 10M/100M Web Smart Switch".

The left navigation menu includes:

- Administrator
- Port Management
- VLAN Setting
  - Group VLAN Setting
  - Multi to 1 Setting
- Trunk Setting
- QoS Setting
- MAC Address Configuration
- Configuration Backup/Recovery
- Logout

The main content area is titled "Multi to 1 Setting". It features a table for configuring port settings:

Destination Port No.	01											
Current Setting	Port-											
Disable Port	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Below the table is an "Update" button. The text below the table reads: "1. An example for Multi-to-1 structure".

The diagram shows a "Destination Port/Current Setting" of 22. Arrows point from this port to ports 01 and 02. Port 01 is associated with VLAN Group 1, and port 02 is associated with VLAN Group 2. This illustrates how a single destination port can be shared by multiple other ports, each belonging to a different VLAN group.

共有ポートを1ポート設けて、他の23ポートを全て分割する構成のVLANを作成できます。

※「Multi to 1 Setting」に設定を行うと「Group VLAN Setting」の設定内容は無視されます。

### 設定手順

1. 共有ポートを「Destination Port No.」欄で指定します。

「1」～「24」から選択可能です。

2. 他の全てのポートと通信不能にしたいポートがあるときは「Disable Port」欄から選択します。（通常は選択不要です。）

3. [Update] をクリックします。

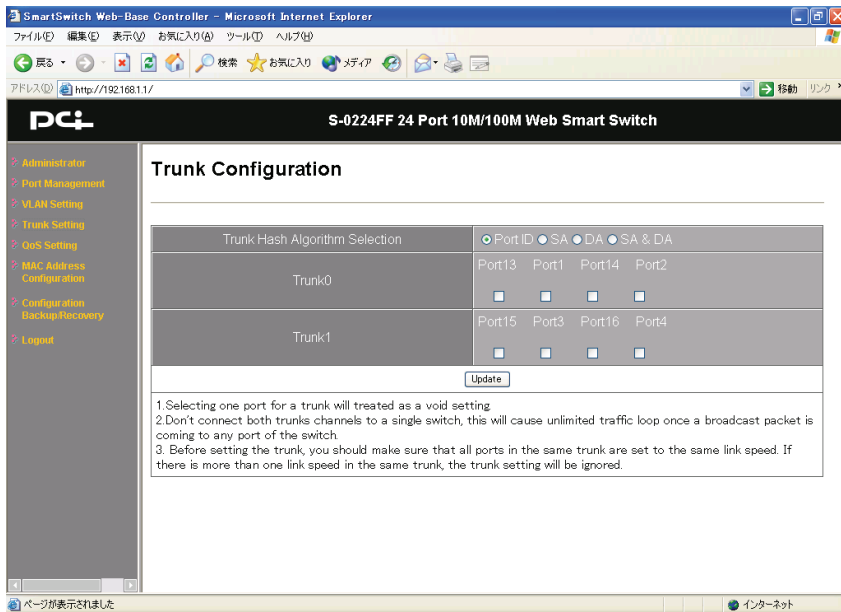
4. 「Current Setting」欄と「Disable Port」欄に設定内容が反映されていることを確認します。

「Current Setting」欄が「Port:-」と表示されているときは「Multi to 1 Setting」は無効です。

全ポートのVLAN設定を解除したいときは「・ Group VLAN Setting」（14ページ）の画面で [LoadDefault] をクリックします。



# ▽Trunk Setting



Trunk接続の設定ができます。

最大2グループ（グループあたり最大4ポート）作成可能です。

※Trunk接続は同機種同士に限られます。

## 設定手順

1.Trunkアルゴリズムを「Trunk Hash Algorithm Selection」欄で指定します。

「Port ID」：振り分けアルゴリズムでPort IDを使用します。

「SA」：振り分けアルゴリズムで送信元MACアドレスを使用します。

「DA」：振り分けアルゴリズムで宛先MACアドレスを使用します。

「SA & DA」：振り分けアルゴリズムで送信元MACアドレスと宛先MACアドレスを使用します。

2.Trunkで使うポートを「Trunk0」で指定します。

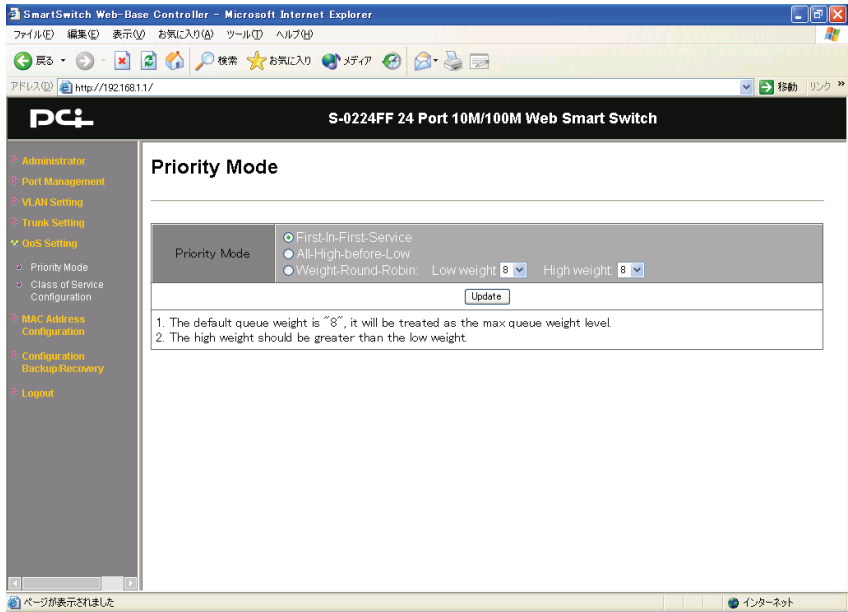
「Port1」「Port2」「Port13」「Port14」から選択できます。

3. もう一つTrunkを使うときは、ポートを「Trunk1」で指定します。  
「Port3」「Port4」「Port15」「Port16」から選択できます。
4. [Update] をクリックします。

# ▽QoS Setting

QoSの設定ができます。

## ・ Priority Mode



本製品におけるQoSの動作モードを、以下の項目から選択できます。

「First-In-First-Service」 : QoS無効。

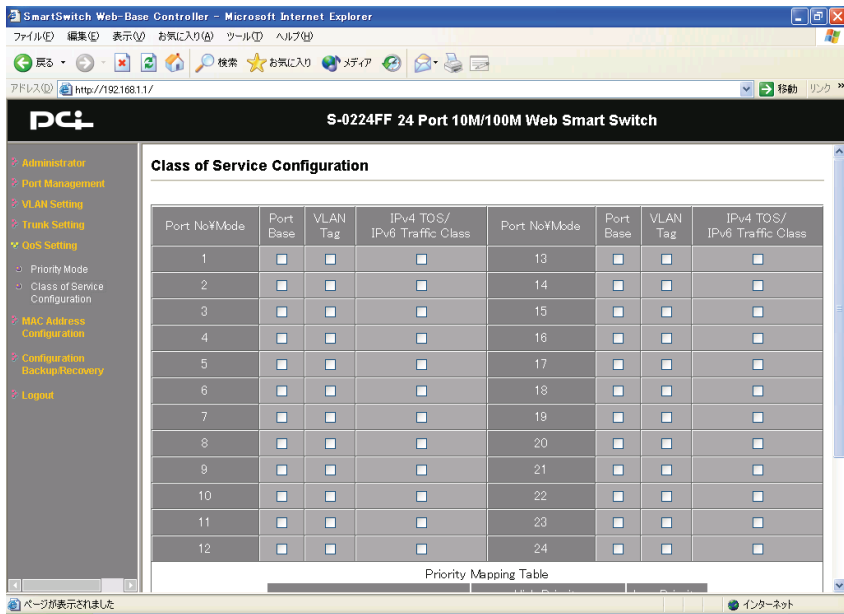
「All-High-before-Low」 : 絶対優先（Strict Priority）方式。プライオリティHighの packets から優先的に送信します。全てのHighの packets を送信後に、Lowの packets が送信されます。

「Weight-Round-Robin」 : 重み付きラウンドロビン（Weighted Round Robin）方式。「High weight」欄と「Low weight」欄に設定されている値の比率に従って、Highの packets とLowの packets を送信します。

「High weight」欄は「1」～「8」から選択できます。

「Low weight」欄は「1」～「8」から選択できます。

## ・ Class of Service Configuration



各ポートにおけるQoSの動作モードを、以下の項目から選択できます。

### 「Port Base」：

ポートベース。

ポートベースQoS機能を使うときに有効にします。

### 「VLAN Tag」：

VLAN Tag設定。

TOS値を用いたQoS機能を使うときに有効にします。

### 「IPv4 TOS/IPv6 Traffic Class」：

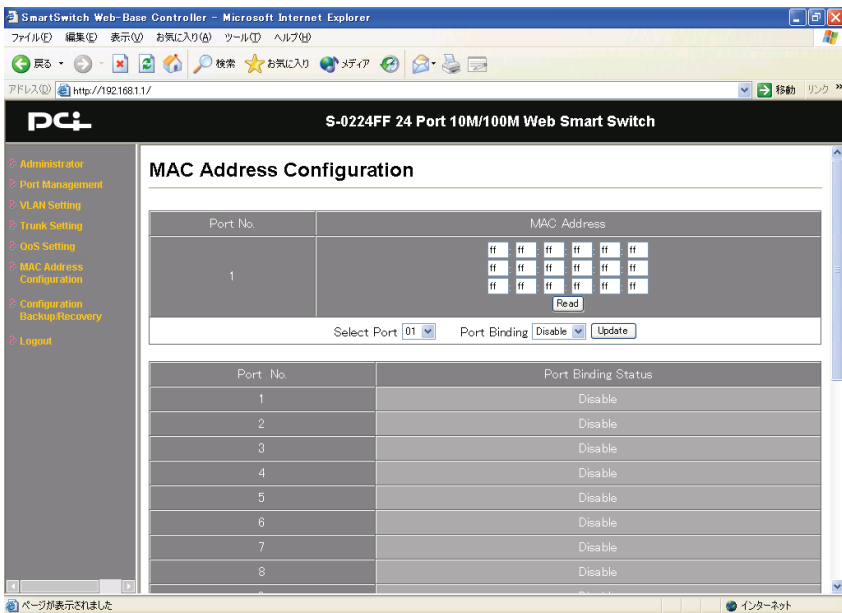
IPv4 TOS値ベース QoS。

TOS値ベース QoS機能を使用するときに有効にします。

有効にしたときは「VLAN Tag」欄も有効にしてください。

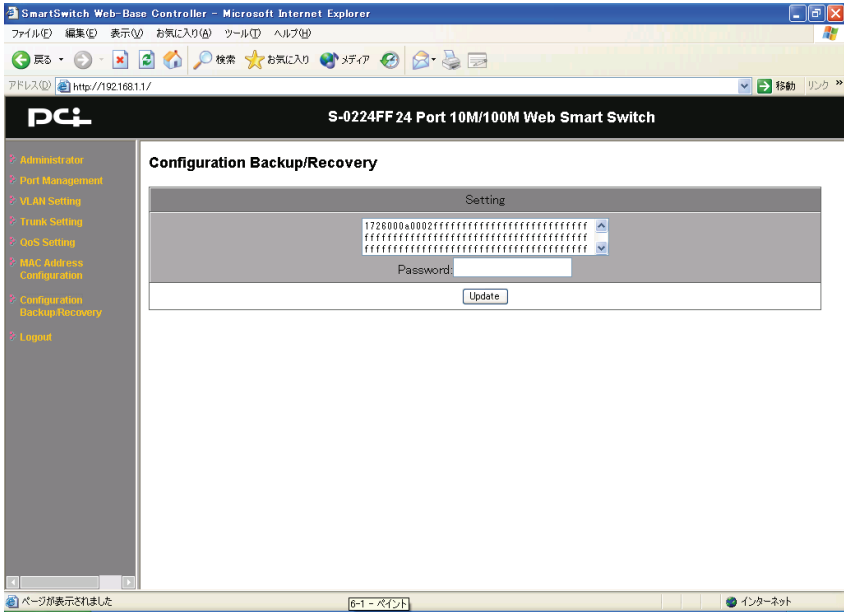
## ▽MAC Address Configuration

本機能はサポート外です。



# ▽Configuration Backup/Recovery

設定内容のバックアップとリカバリーができます。



## バックアップ手順

- 1.画面の“テキストボックス”内に書き込まれているテキストデータをコピーします。
- 2.メモ帳などに貼り付けます。
- 3.テキストとして保存します。

## リカバリー手順

- 1.保存しておいたテキストをコピーします。
- 2.画面の“テキストボックス”内に貼り付けます。（上書き）
- 3.パスワードを「Password」欄に入力します。
4. [Update] をクリックします。

## 【ご注意】

- ・ リカバリしたい設定内容は全て別途メモなどに残すようにしてください。
- ・ 一部、本機能でリカバリできない設定項目があります。  
リカバリできない設定項目は、別途手動で設定し直していただく必要があります。
- ・ リカバリ後は必ず本製品を再起動してください。（※1、※2）
- ・ リカバリできる設定項目は次のものになります。

Administration	Authentification Configretion	×
	System IP Configretion	○
Port Management	Port Configretion	○
	Port Mirroring	○
	Bandwidth Control	○
	Broarcart Storm Control	×
VLAN Setting	Group VLAN Setting	○
	Multi to 1 Setting	○
Trunk Setting		○
Qos Setting	Priority Mode	○
	Class of Service	○
MAC Adress Configretion		×

× : バックアップに対応していません。

○ : バックアップに対応しております。

### ※1 本製品の再起動方法

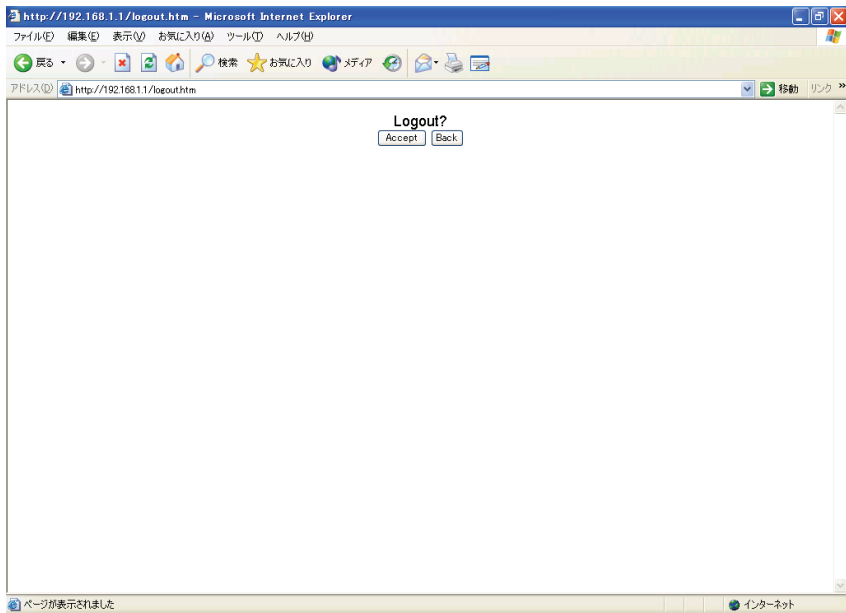
電源ケーブルを一度抜いて挿しなおすか、本体前面のリセットボタンを1回（約1秒）押すことで、本製品を再起動できます。

但し、リセットボタンを2秒以上押し続けてしまいますと、設定内容が初期化されてしまいますのでご注意ください。

### ※2 本機能で作成した設定ファイルに関する注意事項

- ・ S-0116FFとS-0224FFの間での互換性はありません。
- ・ 同型番同士であっても、別のシリアル No.のハードウェアには読み込ませないでください。動作保証外となります。

# ▽Logout



ログアウトするときは [Accept] をクリックすると、ウィンドウが閉じます。  
まだログアウトしないときは [Back] をクリックします。

## ■初期化方法

以下の方法で、本製品の設定を工場出荷時の状態に初期化できます。

### 方法1：リセットボタンから

本体前面のリセットボタンを、電源オンの状態で数秒間長押しをしてからはなします。  
一瞬LEDが全て点灯し、また通常の表示に戻ります。以上で処理完了です。

### 方法2：WEB設定画面から

WEB設定画面の「Load default setting」で [Load] をクリックします。



## ■仕様

機能	
対応規格	IEEE802.3:10BASE-T
	IEEE802.3u:100BASE-TX
	IEEE802.3x:フローコントロール
インターフェース	RJ-45 ポート×24 (AutoMDI/MDI-X 対応)
伝送速度	10/100Mbps (オートネゴシエーション)
スイッチング方式	ストア & フォワード
ネットワークケーブル	10BASE-T: カテゴリ 3 UTP ケーブル以上
	100BASE-TX: カテゴリ 5 UTP ケーブル以上
パケットバッファ	187KB
スイッチングファブリック	4.8Gbps
MAC アドレス登録数	4,000 個 (全ポート合計)
スループット (64Bytes)	10BASE-T: 各ポート 14,881 パケット/秒
	100BASE-TX: 各ポート 148,810 パケット/秒
フローコントロール	全二重: IEEE802.3x、半二重: バックプレッシャー
VLAN	ポートベース VLAN (Multiple VLAN 対応)
	最大 VLAN グループ数: 12 Multiple VLAN 設定時のみ VLAN グループ数: 23
Trunk	最大 4 ポート、2 グループ
QoS	対応アルゴリズム: Strict、WRR
	対応 QoS 方式: CoS、ToS
ポートミラーリング	Tx、Rx、Both
その他機能	Bandwidth Control (帯域制御)
ハードウェア仕様	
LED	POWER、LINK/ACT
冷却ファン	ファンレス
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大 12W
外形寸法	267(W) × 42(H) × 162(D) mm
重量	約 1.4kg
19 インチラック	対応
動作時環境	温度: 0~40°C

	湿度: 35~85%(結露なきこと)
保存時環境	温度: -20~60℃
	湿度: 10~95%(結露なきこと)
取得承認規格	CE、FCC Class A、VCCI Class A
その他	
対応 OS	Windows Vista/XP/2000/Me/98SE
保証期間	1 年間

■ 注意事項

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ(<http://www.planex.co.jp>)を参照ください。

## ユーザ登録について

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では、製品をお買い上げいただいたお客様にユーザ登録をお願いしております。

ユーザ登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザサポートをお受けになるにはお客様のユーザ登録が必要となります。ユーザ登録の際は、ホームページ掲載の「個人情報保護方針について」をご確認後、ユーザ登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザ登録は下記弊社ホームページ上で受け付けております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

## 弊社へのお問い合わせ

### ■サポート Q&A 情報(FAQ、よくある質問と答え)

ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

<http://faq.planex.co.jp/>

### ■オンラインマニュアル

最新版のマニュアルを参照できます。

[http://www.planex.co.jp/support/download/index\\_manual.shtml](http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml)

### ■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

#### プラネックスコミュニケーションズ株式会社サポートセンター

<お問い合わせフォーム>

<http://www.planex.co.jp/support/techform>

<サポートダイヤル> 0570-064-707

受付: 月～金曜日、10～12時、13～17時

※祝祭日および弊社指定の休業日を除く

<FAX> 03-5766-1615 受付 24時間

FAXにてお問い合わせのお客様はこちらの FAX フォームをご利用いただくと便利です。

### ■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。

ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

<PLANEX DIRECT>

<http://direct.planex.co.jp/>

### ■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

<ご質問/お見積もりフォーム>

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

◇お問い合わせ前のお願い

サポートを円滑におこなうため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力をお願いいたします。

## 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー

お使いのコンピュータの型番と OS 名 (Windows XP など)

お使いのネットワークの環境 (回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)

ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

## ■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

## プラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注)上記内容は 2009 年 8 月現在の情報です。  
内容は予告なく変更または削除される場合があります。  
ご了承ください。

## 質問表

技術的なご質問は、この 2 ページを出力して必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5766-1615

送信日 : \_\_\_\_\_

会社名			
部署名			
名前			
電話		FAX	
E-MAIL			

製品名 Product name	24 ポート 10M/100M WEB スマートスイッチ
型番 Product No.	S-0224FF
製造番号 Serial No	

### ① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

### ② OS

OS	バージョン
----	-------

